

Twitter を用いた災害情報共有システムの開発

東海大学
T0-Collabo 安心安全プロジェクト
内田 理

キーワード

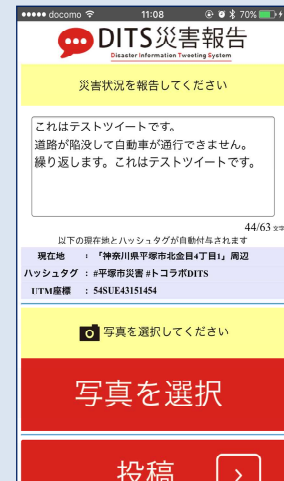
Twitter, 災害情報, 位置情報, Web アプリ

大規模災害発生時に被害を最小限に抑えるには
迅速かつ的確な情報収集と伝達・共有が重要

Twitter を用いた災害情報共有システム

災害情報ツイートシステム DITS (Disaster Information Tweeting System)

- ・利用者の現在地の位置情報（経緯度）を取得し、それに基づいて住所と災害時地域ハッシュタグ「#〇〇市災害」、及び MGRS コードをツイート内に自動付与する
- ・利用者の Twitter の設定が「位置情報の利用を許可」となっている場合には、ジオタグ（経緯度情報）付きツイートとして投稿される
- ・画像の添付が可能である
- ・利用者自身の Twitter アカウントからのツイートとして投稿される



災害情報マッピングシステム DIMS (Disaster Information Mapping System)

- ・現在地から 20Km 以内のツイートを検索して地図上に表示する
- ・画像が添付されているか否か、及び「#救助」タグの有無により、マッピングに使用するアイコンが変化する
- ・利用者の現在地の市区町村が公式のツイッターアカウントを運用している場合は、最新ツイート 10 件分を表示する
- ・Twitter アカウントは必要とせず誰でも利用可能である



DITS・DIMS 試せます
<http://saigai.main.jp/>



東海大学
To-Collabo 安心安全プロジェクト
<https://www.facebook.com/tokai.anshinanzen/>